

西暦 2021 年 11 月 17 日

これまでに腹部大動脈瘤のステントグラフト内挿術後の Type II エンドリークに対して治療を受けた患者さんへ 【過去の治療データの調査研究への使用のお願い】

松山赤十字病院血管外科では「Type II エンドリークに対する介入と予後の検討」という臨床研究を行っております。この研究は、腹部大動脈瘤のステントグラフト内挿術後の Type II エンドリークに対する治療の有用性・安全性を調べることを主な目的としています。そのため、過去に Type II エンドリークに対して治療を受けた患者さんのカルテ等の治療データを使用させていただきます。

以下の内容を確認してください。

○この調査研究は松山赤十字病院医療倫理委員会で審査され、病院長の承認を受けて行われます。

研究期間 : 西暦 2021 年 10 月 1 日 ~ 西暦 2021 年 11 月 9 日まで

対象調査期間 : 西暦 2010 年 11 月 1 日 ~ 西暦 2021 年 10 月 31 日まで

○今回の調査研究の対象はこれまでに大動脈-腸骨動脈閉塞で血管内治療を受けた患者さんのカルテです。

○過去のデータもしくは治療終了後のデータを使用する研究であり、新たな検査や費用が生じることはなく、また、データを使用させていただいた患者さんへの謝礼等もありません。

○使用するデータは、個人が特定されないよう匿名化を行い、個人情報に関連する事項全てを保護します。

○調査研究の成果は、学会や科学専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人を特定するような情報が公表されることはなく、個人情報は守られます。

○調査研究の結果、特許権などの知的財産権が生じる可能性もございますが、データを使用させていただいた患者さんには帰属しません。

○この調査研究は、松山赤十字病院外科の研究費で行っており、特定の企業・団体等からの支援を受けて行われるものではなく、利益相反状態にはありません。

もし、今回のデータ使用について同意をいただけない場合には、いつでも構いませんので、お手数ですが下記の問い合わせ先まで連絡ください。

また、同意の有無が今後の治療などに影響することはありません。

【問い合わせ先】

松山赤十字病院 血管外科 副部長

研究責任者：本間 健一

TEL : 089-924-1111(代) FAX : 089-922-6892(代)